

# 第9回氷川まつり開催

3月23日、桜ヶ丘グラウンドにおいて、第9回氷川まつりが行われました。

この日は前日までの寒さから一転して春の陽気に包まれ、美しい桜が咲き誇りました。各種団体によるバザーでは、目移りするような食べ物がいっぱいと並び、特設ステージでは、桜龍太鼓の迫力ある太鼓演奏や竜北中学校吹奏楽部の軽快な演奏、キャラクターショーや歌謡ショーが会場を盛り上げていました。

また、お楽しみ抽選会や餅投げなど、楽しいイベントが盛りだくさんの一日となり、多くの来場者でにぎわっていました。



## 地域活性化に期待

# 宇城氷川スマートインターチェンジ開通

3月29日、県内初のスマートインターチェンジである「宇城氷川スマートインターチェンジ」が開通しました。

開通に先立ち小川小学校で行われた祝賀式では、関係者約130人が出席しました。

宇城・氷川スマートインターチェンジ建設促進期成会会長の守田憲史宇城市長、同副会長の藤本町長より、主催者あいさつが行われ、藤本町長は「観光産業の活性化はもとより、企業誘致の促進など

により、地域経済の浮揚、災害時の福祉輸送経路の確保や緊急救命における搬送時間の短縮などさまざまな分野で寄与するものと期待をしております」と述べました。

その後、スマートインターチェンジの料金所では、午後3時の供用開始を前に関係者によりテープカットが行われ、火の君太鼓保存会の太鼓演奏や地元の子供たちが色鮮やかな風船を飛ばし、開通を祝いました。



## 熊本と北海道 青年農業者が交流を深める

# 友好町大空町との交流

3月21日から4日間の日程で、友好町提携を結ぶ北海道大空町から4人の青年農業者と3人の担当職員が氷川町を訪れ、「青年農業者の育成と交流」をテーマに交流事業が行われました。

2日目は、農家や道の駅竜北などの視察を行いました。

イチゴ、ミニトマト、キャベツ、イ草、晚白柚などについて生産者から直接説明を受けることで自分たちの農業との違いを感じ、今後大空町の農業を担っていく青年農業者たちにとっては大きな刺激となったようでした。

また、夜の氷川町の農業者との交流会では、活発な意見交換と、氷川町の農業者から大空町の若い青年農業者たちへ熱いメッセージが送られる

有意義な時間となりました。

3日目は、氷川まつりに参加し、チーズや長いもなど大空町の特産品の販売が行われました。

訪れた人からは「大空町に行ったことがある」「大空町の長いもを食べたことがある」といった声も聞かれ、販売を通して多くの町民と交流を深めることができました。今回の事業を通して、交流事業は両町の友好の絆を深めながらお互いに自分の町を見つめなおす良い機会にもなっていると感じられました。

今後も事業を継続、発展させながら、さらに交流の輪を大きくしてまいります。



▲両町の農業者で記念撮影



▲特産品販売は盛況でした